

## 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第63回本部会議 記録

日 時／令和3年7月7日（水）

18：00～18：23

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

### 【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第63回本部会議を開催いたします。

まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

### 【原田新型コロナウイルス感染症対策監】

道内の感染状況等についてです。資料1をご覧くださいと思います。

まず、主な指標の状況でございますけれども、道独自の警戒ステージですが、本日時点で、検査陽性率、新規感染者数、全道の感染経路不明割合及び札幌市の感染経路不明割合が前の週を上回っているという状況になっています。

国の分科会提言で示された新たな指標についてですけれども、本日現在、全道では、全ての指標において、ステージⅢの目安を下回っているという状況です。札幌市については、入院率と感染経路不明割合を除く指標で、ステージⅢの目安を下回っているという状況になります。

全道の感染状況です。先週よりも増加し、昨日までの直近1週間で、人口10万人当たり4.4人、リンクなしの割合も上昇が続いておりまして、49.4%となっています。なお、本日の新規感染者数ですが、67名で、人口10万人当たりでは、5.0人となっております。

続いて、札幌市の状況です。昨日時点で10万人当たり7.6人。リンクなしの割合は上昇が続いておりまして、60.8%と高い水準にあるという状況です。また、本日の新規感染者数ですが、33人で、人口10万人当たりでは、7.9人となっております。

続いて、札幌市と札幌市以外で分けたデータですけれども、それぞれ、ピークに比べれば低い水準にありますけれども、足下横ばいという状況が続いている状況です。地域別の感染状況ですけれども、先週と比較して見てみますと、札幌市や石狩管内以外の一部の振興局におきまして、増加がしているところが見て取れるという状況になっています。

続いて、発症日別の新規感染者数ですけれども、5月中旬のピークから減少傾向が続いておりましたが、足元は横ばいの状況となっています。

年代別の感染者の推移ですけれども、20代・30代の割合が、ちょっと急激な上昇がありましたものの、ここ数日は若干減少しておりますけれども、昨日時点で37.0%という状況です。10代の割合も足元の上昇幅が大きく、昨日時点で、これらの若い世代で、新規感染者の5割以上を占めているという状況になっています。年代別の新規感染者の割合について、札幌と札幌市以外で分けて見ておりますけれども、特に札幌市は、30代以下の割合が高くなっておりまして、6割を超えているという状況です。若い世代の新規陽性者の割合は、感染拡大の先行指標ともされておりますので、注視が必要な状況です。

監視体制です。検査数ですけれども、直近1週間で、15,058件、陽性率は1.6%という状況になっています。

医療提供体制の状況ですが、全道の入院患者数は減少が続いておりまして、昨日時点で、333人となっております。また、重症患者数ですけれども、18人という状況になっています。

集団感染の発生状況ですけれども、6月ですが、5月に比べて、件数・人数とも大幅に減少しているという状況です。特に、医療・福祉施設と飲食店等で減少しておりますが、6月は事業所等での集団感染が、高い割合を占めているという状況です。1週間ごとの状況について、札幌市と札幌市以外で見えておりますけれども、札幌市につきましては、直近1週間については、集団感染が発生していないという状況になっています。

続いて、ワクチンの接種の状況です。高齢者向けワクチンの接種状況ですけれども、7月5日現在で、1回目の接種を終了した方は、約84万6千人で、接種率は51.1%。2回目については、約40万5千人で、24.4%という状況になっています。

これについて、高齢者人口区分別で、1回目のワクチンの接種率を示したものを表示させていただいておりますけれども、これについてはVRSの入力値に基づくものであり、先週もご説明いたしましたけれども、入力に当たっての事務処理上の課題等もありますことから、実際の接種率より低い場合があることに留意が必要ということでもありますけれども、引き続き、人口規模の小さい市町村では接種率が高いということ、一方で、特に人口の多い自治体では、接種率が低いという状況が見て取れるかと思えます。

続いて、接種回数ですけれども、7月5日までの直近1週間におけます高齢者向けワクチンの接種回数ですが、約28万9千回となっております、1日平均、約4万1千回と、前の週と比べまして、約3,000回増えているという状況です。

その他の取組ですけれども、二つ目の〇のところでございますが、道のワクチン接種センターでの集団接種の状況です。第3週の予約状況ですけれども、予約率71.7%となっております。また、第4週の予約枠についてですけれども、札幌市におけます新規予約受付の停止の動きも踏まえまして、350件増やして、7,350件の対応としたところでございます。

デルタ株の検査状況ですけれども、昨日までに1,356件の検査を実施しておりまして、疑い事例の数は、本日公表の件も含めまして3件となっているという状況です。

続いて、人出の状況です。札幌駅周辺の人出の状況ですけれども、日中・夜間ともにやや増加傾向が継続しているという状況です。特に日中の時間帯ですけれども、4月の水準まで人手が戻っているということで、まん延防止等重点措置前と比較いたしますと、いずれも2割以上の増となっている状況となっています。続いて、すすきの駅周辺の状況ですけれども、札幌駅周辺とほぼ同様の傾向が見て取れますが、夜間で急増しておりましたが、足元では、概ね横ばいが続いておりますけれども、まん延防止等重点措置前と比較いたしますと約4割増加しており、注視が必要な状況です。

最後に総評です。感染状況です。全道の新規感染者数は、下げ止まり、横ばいとなった。足下の状況を見ますと、先週今週比が2日連続の増加となっているという状況です。また、札幌市においては、感染拡大の予兆を示すとされます感染経路不明割合が急速に増加しておりまして、若年層の新規感染者の割合も上昇している。また、札幌市内の人流も、繁華街では横ばいでありまして、中心部では増加傾向が継続しているという状況です。また、経過区域であります石狩振興局管内、小樽市及び旭川市では、新規感染者数は大幅に減少しておりまして、低い水準で推移しています。その他の地域では、集団感染の影響により、感染者数が増加した地域が見られるという状況になっています。

医療提供体制です。全道の入院患者数は減少傾向が続いておりまして、札幌市内の医療提供体制も、一時期より改善しつつあるという状況です。

首都圏におけます感染状況ですけれども、東京は新規感染者の増加が続き、埼玉、千葉、神奈川においても増加が見られ、今後も感染の拡大が強く懸念されているという状況になっています。

ワクチンですけれども、65歳以上の高齢者への接種は、1回目51.1%、2回目24.4%が終了した。接種回数ですけれども、前週よりも3,000回増加し、約4万1千回ということです。接種センターの予約率ですけれども、約71.7%という状況です。

今後の対策です。感染状況は下げ止まっておりまして、特に、札幌市内におきましては、感染経路不明割合など、感染拡大の予兆とされます指標が悪化し、警戒が必要な状況にあります。まん延防止等重点措置の下、措置の徹底を図るとともに、感染経路不明割合の増加を踏まえまして、改めて札幌市と連携を行いながら、積極的疫学調査の徹底を図ってまいります。

また、これまでの道内のデルタ株事例のうち、最初の2事例については、いずれも道外との往来歴が確認されています。首都圏におけます感染拡大等を踏まえ、緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域、具体的には、沖縄県や東京都などとの往来を極力控えることについて、より一層徹底を図るとともに、デルタ株の疑い事例が確認された場合には、速やかな情報提供や感染拡大の防止に徹底して取り組むこととしておます。

ワクチン接種についてですが、供給スケジュールなど国から情報収集を行いながら、市町村へのきめ細やかな支援を行うなど、希望する方が1日も早くワクチン接種を終えることができるよう取り組んでまいります。

資料1の説明は以上でございます。引き続き、お手元の資料2をご覧くださいと思います。先ほどの資料1について、専門家及び有識者のご意見を伺うとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせしているところでございます。

有識者、専門家の皆様からは、概ね妥当であるというご意見をいただいておりますけれども、その主なものをご紹介しますと、(1-①)札幌の感染を少なくすることが道内の感染者数の減少につながる。また、感染の次の波を小さくするためにも、ワクチン接種の拡大と医療提供体制の確保をお願いするといったご意見。(1-②)30代以下を中心といたします若年世代に感染者の割合が高いこと、また、リンクなしが増加傾向にあることを踏まえ、感染防止意識と行動の徹底並びに同世代のワクチン接種を急ぐ必要があるといったご意見。(1-③)新規感染者数は下げ止まっており、感染経路不明の割合も増えているので、今後の感染拡大が心配。引き続き、注意深く見守る必要があるというご意見が寄せられております。こうしたご意見については、今後の対策に活かしてまいりたいと考えております。

私からの説明は以上です。

#### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所 西條医療政策担当部長から、ご説明をお願いいたします。

#### 【西條札幌市保健所医療政策担当部長】

札幌市内の感染状況について説明いたします。資料1頁目をお願いします。

新規感染者の1週間の合計は、昨日、7月3日時点では147名となっています。また、10万人当たりでは7.5人と、国のステージⅢ、北海道警戒ステージ4の指標である15人を大きく下回っている状況であります。

リンクなし、灰色で示している部分ですが、この部分について説明します。直近の数字には、公表時点で調査中の方も含まれており、その後の調査結果を反映させた数字と比較すると、直近の割合は高くなる傾向にあります。また、集団感染事例が減少傾向ということもあり、全体として、リンクなしの割合が増加傾向、このような状況にあります。

新規感染者数が減少し、リンクなしの感染者数自体には大きな増加は見られてはおりませんが、感染経路を把握し、市中での感染の広がりを抑えていくことが重要と考えております。

次のスライドをお願いします。札幌市民の入院患者数の状況などについて、説明いたします。昨日の時点で入院患者は94人と、100人を下回るころまで減少してきていますが、医療提供の体制への負荷を抑え、次の感染拡大に備えるためにも、もう一段階、患者数を減らしていくことが重要と、このように考えているところです。

次のスライドをお願いします。検査数について、説明いたします。直近の1週間の検査件数は7,793件であり、陽性率は、昨日、7月6日時点で1.9%と、札幌市が目標とする5%を下回る水準で推移しています。

また、先日、市内で初めてですが、デルタ株疑い患者が1例確認されているところがあります。スクリーニング検査の結果、新たに1例のデルタ株、感染疑い事例が判明したところがございます。アルファ株を上回る感染性があるとされるデルタ株疑い患者が市内でも感染確認され、また、市内中心部の人流にも増加傾向が見られていることから、今後の感染拡大が懸念されるところです。デルタ株感染事例が確認されていることから、新型コロナウイルス感染症流行のまん延をできるだけ小さく抑えるためにも、早期発見、早期対応が重要であり、状況に応じ柔軟に、かつ迅速に対応していく所存でございます。

また、先ほど発表いたしました、札幌市職員3名が新型コロナウイルスに感染した事案が発生しました。発症前の14日間において、市役所内でマスクをしていない来庁者との対応があったことが確認されています。6月19日から7月2日までの間に、札幌市役所に来庁された方で、体調に不安のある方は、市の相談ダイヤルにご連絡していただきたいとこのように思っております。

また、ワクチン接種について、ご報告いたします。感染の拡大を抑えるためにも、ワクチン接種の円滑な実施がとても重要であります。現在、希望量の3分の1程度のワクチン供給量となり、集団接種会場等の新規予約を停止しているところです。国のワクチン供給量にも影響することから、VRSの入力を滞りなく進め、今後の供給量を踏まえて、優先接種対象者や64歳以下の方々に対しても、段階的な接種開始を検討していきます。

以上、札幌市の報告です。

#### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、各部・振興局から、順次、発言をお願いいたします。

まず、総務部長、お願いします。

#### 【藤原総務部長】

お手元の資料4をご覧ください。道民の皆様には、これまでもマスクの着用など、感染防止対策をお願いし、また、ご協力をいただいているところがございますが、マスクを着用せずに来庁される方も見受けられることから、他の来庁者はもとより、庁内の職員への感染防止を図るため、この度、対策を取りまとめましたので、お知らせをいたします。

まず、一つ目でございますけれども、マスクを着用していない来庁者への対応について

でございますが、今後、1階のロビーにおいて、庁舎警備員がマスク着用の要請を行ってまいります。また、着用に応じていただけない場合は、用件を確認し、担当部局へ連絡いたしますので、1階ロビーにおいて、少人数で対応いただきますようお願いいたします。

また、2点目でございますが、事前連絡がない多人数の来庁者への対応についてでございますが、こちら、担当部局におきましては、会議室やエレベーターホールなど広い場所に移動して、少人数にて、対応していただきますようお願いいたします。

なお、こうした事案のほか、また、来庁者への対応などで困ったことがありましたら、速やかに総務部総務課庁中管理係の方へご相談、ご連絡をいただければというふうに思います。

私の方からは以上でございます。

### 【副本部長（小玉副知事）】

この他、各部、振興局からございませんか。  
なければ、本部長からお願いいたします

### 【本部長（知事）】

これまで新規感染者数は大幅に減少してまいりましたが、ここに来て下げ止まりの傾向が見られ、本日は67人と、6月19日の73人以来の高い水準となりました。また、昨日、本日で2日連続で、先週比を上回るという状況になっているところでございます。特に、札幌市内においては、感染経路不明の割合、人流の増加など、感染拡大の予兆とされる指標が悪化をしている状況があります。また、本日、東京都では、920人の新規感染者が確認をされるなど、首都圏における感染も拡大しております。道内においても今後の再拡大に十分警戒していかなければなりません。

まん延防止等重点措置は、残り4日間となったわけではありますが、ここで、もう一段、新規感染者数を減少させ、できる限り医療の負荷を低減させていかなければなりません。各本部員においては、特に札幌市内における市中での再度の感染の広がりや、デルタ株の拡大に警戒を高め、7月11日まで、改めて、札幌市内においては、できる限り外出を控えていただく、札幌との往来を控えていただく、このことについて周知徹底をお願いいたします。

また、道内のデルタ株の2つの事例では、道外との往来歴が確認をされ、東京では感染が急拡大していることを踏まえて、首都圏との往来、こちらを控えていただく、このことについても、周知徹底をいただくようお願いいたします。

さらに、特に、最近感染が拡大している地域との往来に加えまして、大人数での会食といった感染リスクが高い場面での感染事例、これが確認されております。新規感染者数が減少してきますと、これまでの自粛の反動もあって、どうしても気持ちが開放的になるわけではありますが、ここで、ガードを下げてしまいますと、再び感染が拡大をする、そのおそれが高まります。飲食の場面では、4人以内、短時間、会話の時はマスク着用といった、基本的な感染防止行動、これを全道で改めて実践をしていただくようお願いいたします。

また、昨日、本道でデルタ株の3例目が確認をされました。デルタ株については、アルファ株よりもさらに感染性が高いというふうにとられております。検査の徹底と確認された場合の速やかな情報共有、拡大の防止に向けて、引き続き取り組んでいただきたいと思います。

そして、ワクチンの接種についてであります。7月末までに、希望する高齢者向けの接

種を終える予定となっておりますが、市町村をしっかりとサポートをし、円滑な接種を進めるように指示をいたします。

最後に、7月12日以降の対応についてであります。道内の感染状況は決して楽観視できる状況にはありません。感染のさらなる抑制を図ることができるか、重要な局面に来ております。足下の感染状況などを踏まえますと、大きなリバウンドを防止する観点からも、7月11日をもって、全ての対策を終了する、そういう状況にはありません。

また、高齢者向けの接種を進めている中で、接種の済んでいない高齢者の方々などへの感染を防ぐとともに、医療提供体制の逼迫を抑え、接種を円滑に進めていくためにも、全道において感染防止行動の徹底を図り、特に札幌市内では、一定の強い措置が必要であると考えております。慎重にモニタリングを行い、国とも情報共有を図りながら、12日以降の必要な対応について、速やかに検討を進めるよう指示いたします。

私からは以上です。

**【副本部長（小玉副知事）】**

本部長から指示があったことについて、各本部員は必要な対応をお願いいたします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第63回本部会議を終了いたします。

(了)